

2014年度・公式規則変更予定報

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
競技規則委員会



公益社団法人日本アメリカンフットボール協会競技規則委員会では、現在、2014年秋季公式戦から適用される公式規則の変更作業を実施中です。

この「2014年度・公式規則変更予定報」は、本年の公式規則変更を予定している主要項目および主な編集上の変更項目に関して説明したもので、各競技団体の早めの対応を可能にするために発行するものです。本予定報に記載している内容は、今後の作業で追加や変更の可能性があるもので、正式には本年7月上旬に発表予定の「2014年度・公式規則変更内容・決定報」で公示いたします。

[1]2014年度・公式規則変更予定主要項目

2014年度の公式規則変更として予定している主要項目は、次のとおりです。なお、各々の解説の最後の（ ）内の英数字は、この変更が行われる予定の公式規則の主たる「篇一章一条」を表します。

(1) ターゲティングにより資格没収となった場合の、ビデオによる再確認に関する規定の追加

☆ 従来、ターゲティングしてヘルメットの頂点から接触すること(9-1-3)、またはターゲティングして無防備なプレーヤーの首または頭部へ接触すること(9-1-4)によって資格没収となった場合、他のパーソナル・ファウルと同様、ビデオによる見直しは 9-6 に示す追加的な制裁以外に規定されていなかった。

★ 本年より、競技団体内の合意、あるいは異なる競技団体に所属するチーム間の試合では試合前に両チームの合意があれば、前半に発生したターゲティングの反則について、以下の対応ができる。

ハーフタイムに、外部から遮断された審判員専用の場所で、レフリーは競技団体からビデオの提供を受け、そのビデオで資格没収の妥当性を確認する。レフリーの決定は最終的なものとなる。

また、ビデオによる検証が可能であることを前提にして、後半に発生したターゲティングの反則について、当該チームが所属する競技団体は、当該試合を担当した審判組織と共に、次の試合の資格没収の妥当性を再確認することができる。
(9-1-3 および 9-1-4 罰則、追加)

(2) ラフティング・ザ・パサーとなる条件の追加

☆ 従来、パサーまたはフォワード・パスを投げようとしているプレーヤーの膝または膝より下への接触について、パーソナル・ファウルとなる行為以外の規定はなかった。

★ 本年より、オフェンスのプレーヤーが両足または片足をグラウンドに着けてパスの体勢にある場合、ディフェンスのプレーヤーが妨害を受けずにラッシュして行き、膝または膝より下に強力な打撃を与えることも、ラフティング・ザ・パサーの反則となる。体を回転させたり、突っ込んで、膝または膝より下に強力な打撃を与えることも反則となる。ただし、以下の場合には、反則ではない。

- (1) タックル・ボックスの中外に関わらず、オフENSEのプレーヤーがパスを投げる体勢にないランナーの場合。
- (2) ディフェンスのプレーヤーが、通常のタックルをしようとして、相手をつかんだり包み込んだ場合。
- (3) ディフェンスのプレーヤーが妨害を受けた、ブロックを受けた、または反則をされたために相手に接触した場合。 (9-1-9 追加)

[2]2014年度・主な編集上の変更内容

2014年度に主な編集上の変更として検討している項目は、次のとおりです。なお、各々の解説の最後の()内の英数字は、この変更が行われる予定の公式規則の主たる「篇一章一条」を表します。

(1) 無防備なプレーヤーの定義の変更

- ☆ 従来、パスのレシーバーは無防備なプレーヤーとして 2-27-14-b に定義されているが、バックワード・パスを受けるプレーヤーに関する特別な定義はなかった。
- ★ 本年より、「パスをキャッチしようとしているレシーバー」という文章が、「フォワード・パスをキャッチしようとしているレシーバー、またはバックワード・パスをレシーブする位置にいるレシーバー」と変更になる。なお、パスをキャッチした後にに関する定義は変更ない。 (2-27-14-b 変更)

(2) フォワード・パス・プレー中の B チームの反則に対する罰則施行についての変更

- ☆ 従来、フォワード・パス・プレー中に B チームにパーソナル・ファウルの反則があった場合、ラフイング・ザ・パサーの場合を除き、罰則がパス成功後のラン・エンドから施行されることはなかった。
- ★ 本年より、正当なフォワード・パス・プレー中に B チームがパーソナル・ファウルの反則を犯した場合、最後のラン・エンドがニュートラル・ゾーンを越え、かつそのダウン中にチームのボール確保の変更がない場合、罰則は最後のラン・エンドから施行する。その他のすべての場合は、フォワード・パス・プレー中のパーソナル・ファウルに対する罰則はプレビウス・スポットから施行する。 (9-1 罰則、追加)

以上